



香川大学

地域通貨を用いた金融教育 ～学校通貨による地域活性化策～

2006年12月9日

香川大学経済学部

石原 徹

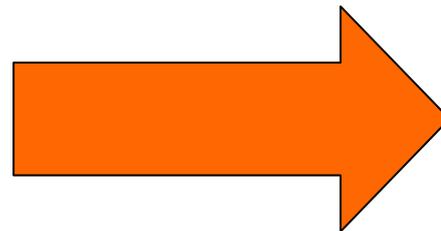
松岡 徹

佐々木 竜二

問題の所在

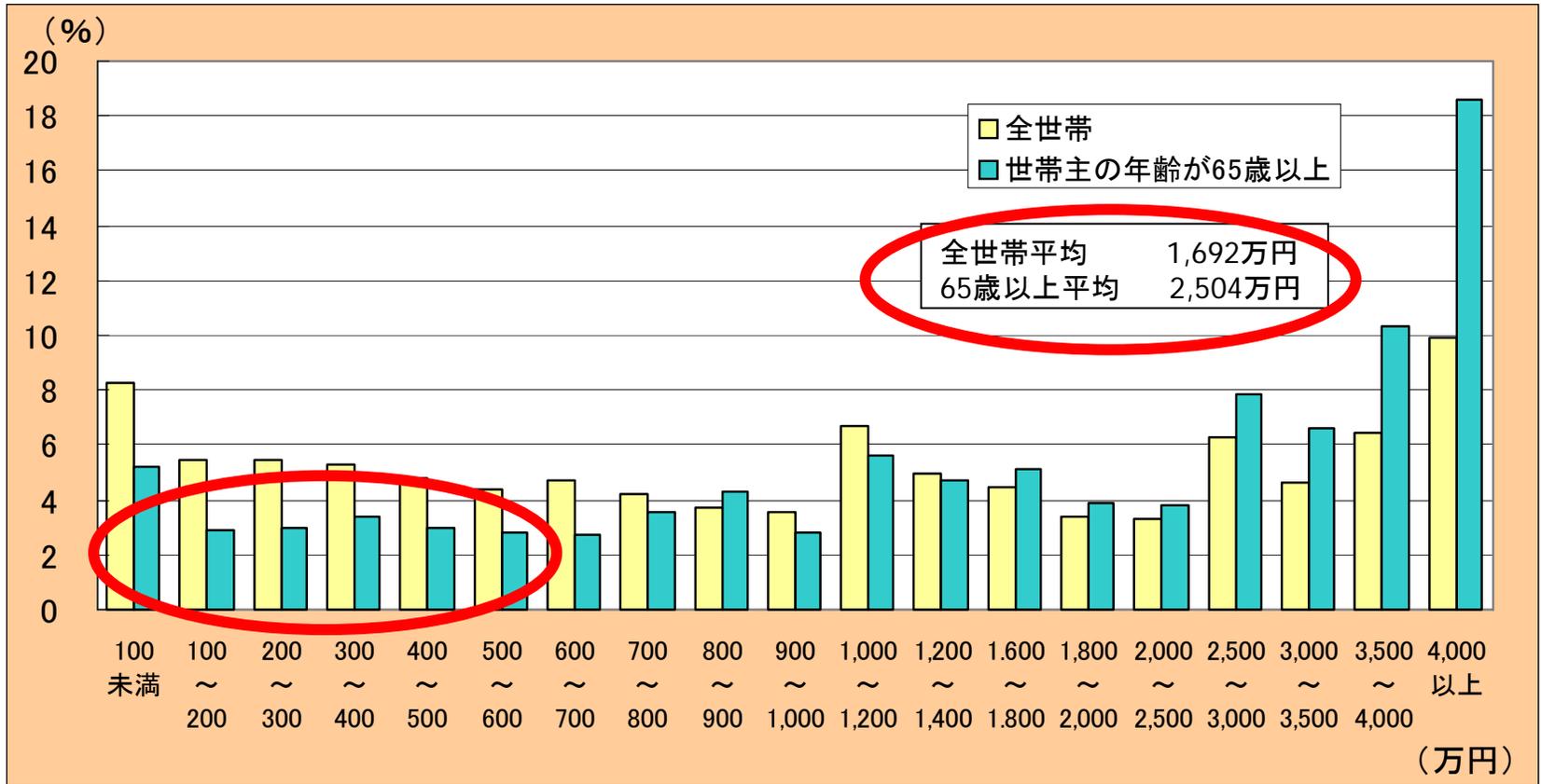
- 子どもたちへの金融教育の不足
- 地域コミュニティの崩壊
- 高齢者への経済的負担の増加

医療制度改革
税制改定



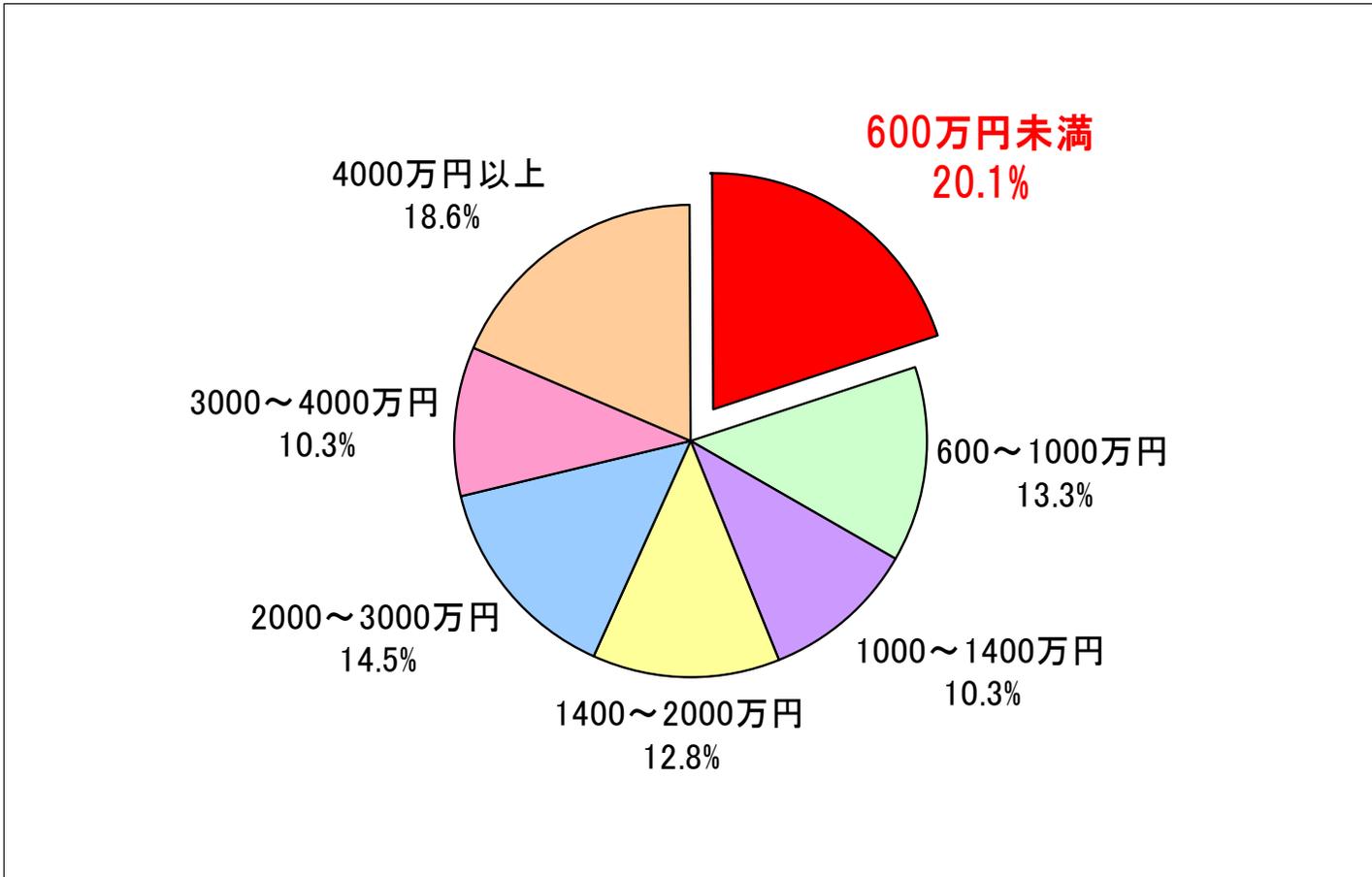
負担増加

全世帯と高齢者世帯の貯蓄額



出所:総務省「家計調査」(平成16年)

65歳以上の貯蓄額の割合



(出所) 総務省統計局 『家計調査年報 平成17年貯蓄・負債現在高の差額階級別世帯分布』

解決策としての地域通貨

- 市場では評価しにくいさまざまな生活サービスを交換しあって支えあう仕組みを作るもの
 - 環境
 - 安全な通学経路
 - 福祉
 - こころの健康づくり
 - 子育て
 - 高齢者による学童保育

地域通貨の特性

- (1) 市民ないし市民団体による自由発行と
運営コストの共有
- (2) 比較的小規模な流通圏と法定通貨への
換金不可
- (3) 無利子または減価

地域通貨のメリット

- 人間関係の構築→コミュニティの形成
- 自分の能力の再考
- 余剰労働力の活用

- 最大のメリット
 - 地域活性化に役立つ

基本的なアイデア

- 地域通貨を使うためには、コミュニティのメンバーとなる必要がある



それはなぜか？

地域振興券からの教訓

■ バラ撒きに近い配布方法

→ 利用者の自覚、ありがたみの欠如

■ 用途の広さ

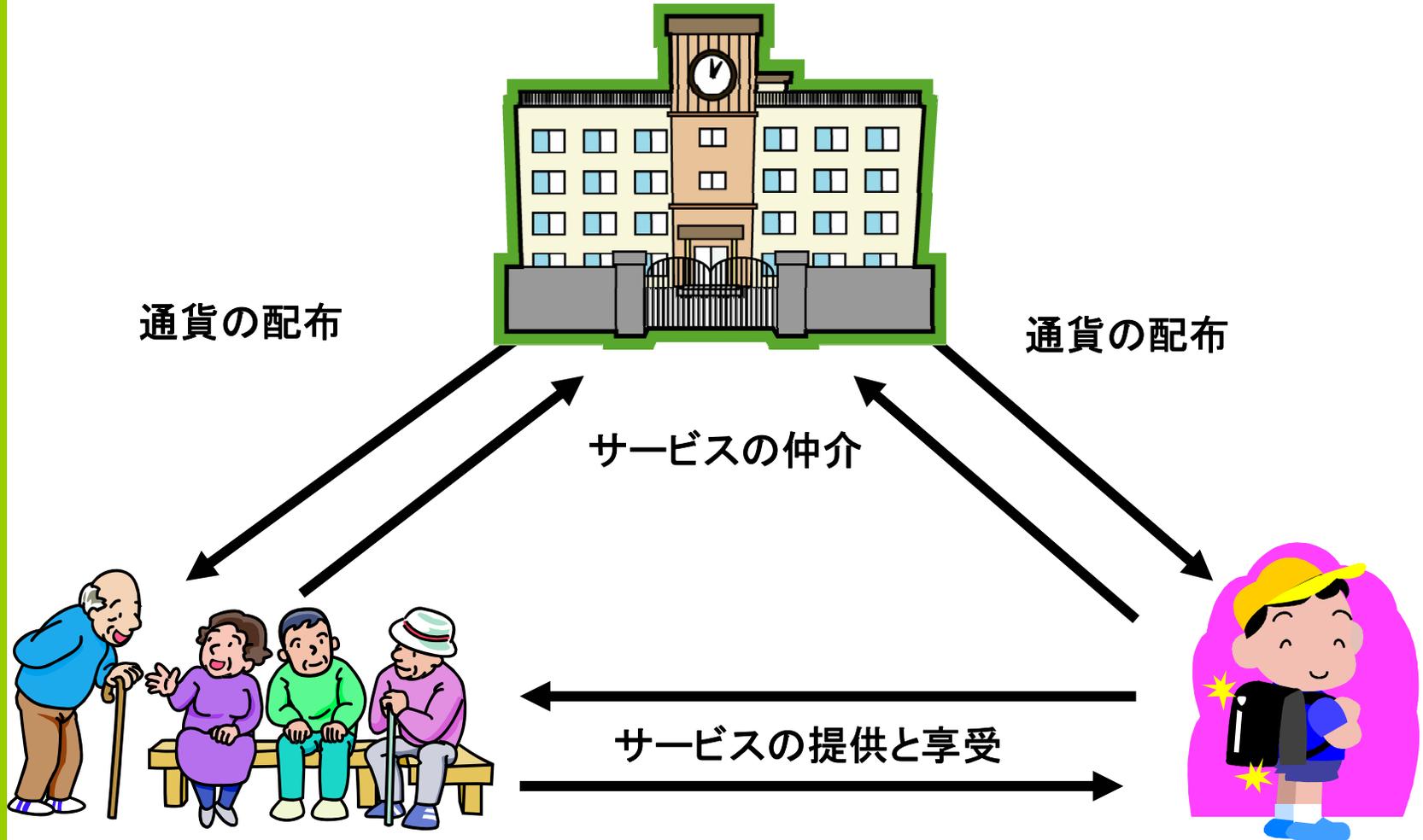
→ 円で消費されるところが地域振興券に変わっただけで、地域振興にはあまりつながらなかった

⇒ **地域内で循環させる必要がある**

提案「学校通貨」

- 学校が発行主体
- 流通圏を小学校と高齢者間に限定
- 配布方法
 - 一定額を振り込んだ通帳を配布
- 使用を促すイベントの開催
 - 説明会
 - 文化祭

学校通貨の仕組み



運営の手順

- (1) 運営組織の立ち上げ
- (2) 交換リストの提出
- (3) 会報(取引用リスト)の配布
- (4) 取引相手の決定
- (5) 取引と支払
- (6) 取引結果の報告

運営の手順(1)

- 運営組織の立ち上げ
 - 学校が中心
 - 学校通貨委員を選出
 - クラスから数人
 - 高齢者の代表
 - 監督役の教師

運営の手順(2)(3)

- 交換リストの提出
 - 参加者は「提供できる、提供してもらいたいモノやサービス」を運営組織に報告
- 会報(取引用リスト)の配布
 - リストをまとめ、会員に配布

取引用リストの例

高齢者のできること

No.	サービスの内容
1	パトロール
2	料理を教える
3	武道の指導
4	習字を教える
5	虫取り

子どものできること

No.	サービスの内容
1	話し相手になること
2	肩たたき
3	パソコン講座
4	近所へのお使い
5	ゴミ捨て

高齢者のしてほしいこと

No.	サービスの内容
1	話し相手になること
2	庭の草むしり
3	水やり
4	肩たたき
5	高齢者レクリエーション

子どものしてほしいこと

No.	サービスの内容
1	スポーツの指導
2	将棋を教わる
3	自転車の簡単な修理
4	昔の遊びを教わる
5	悩みの相談

運営の手順(4)(5)(6)

- 取引相手の決定
 - 会員は提供してもらいたいモノやサービスを見つける
- 取引と支払
 - 運営組織が料金を決定
 - 取引終了後、互いの通帳に取引内容と金額を記入し、サインする
- 取引結果の報告
 - 取引内容を運営組織に報告して、集計と管理を行う

学校通貨の発行形式

- 口座方式を採用
 - 長所
 - 会員制→コミュニティ構築が比較的容易
 - 流通経路の特定がしやすい→不正防止
 - 特徴
 - 赤字を持たなくする
 - モラルハザード(ただ乗り)の防止

地域通貨と法定通貨の相違点

地域通貨

- ・無利子または減価
- ・信用創造なし
- ・強制力のある
債権債務関係なし

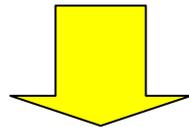
法定通貨

- ・利子あり
- ・信用創造あり
- ・強制力のある
債権債務関係あり

価値尺度
交換手段
価値保蔵手段

今後の金融教育への期待

若い世代の年金への不安



- 金融教育の必要性
 - 破綻のないバランスのとれた金銭感覚
 - コミュニティが育む豊かな人間性
 - お金だけでもものを判断しない価値観
- 信頼関係の上に成り立つお金の流れを学ぶことが金融教育